

八景中学校区小学校 家庭学習の手引き

家庭学習のねらい

- ①子どもに、家庭での学習習慣を身につけさせることです。
- ②子どもに、自発的な学習意欲を持たせることです。
- ③子どもに、基礎学力を身につけさせることです。

中でも特に大切なのは、「学習習慣を身につけさせる」ことです。小学校のうちに机に向かう習慣を身につけることが、将来に大きく役に立ちます。

「家庭学習」とは、「宿題」「自主学習（次にこんなことをしてみよう）」「予習」が含まれます。



家庭学習のさせ方

- ① 始める時間を決める。（「宿題」があったら、最初にそれをさせて下さい。）
- ② 学習時間を決める。宿題だけでは、時間が余ったら「次にこんなことをしてみよう」の中から選んでさせて下さい。（高学年は、予習にも取り組ませて下さい。）
- ③ 決まった場所です。
- ④ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書でも折り紙でもかまいませんが、必ず机に向かわせましょう。「机に向かう」という習慣が大事です。

家庭学習の習慣や方法

(1) 家庭学習の習慣

- ① 毎日必ず学習する。（できれば時間を決めて）
- ② テレビを見ながらしない。
- ③ 机の上をきれいにし姿勢をよくして行う。
- ④ 学習後は、必ず明日の学習準備をする。



(2) 学年の発達段階による家庭学習

低学年	中学年	高学年
学校の宿題はできる。	学校の宿題は確実にできる。	宿題が出なくても基本の学習はできる。 明日の予習をする。
毎日家でも学習しようという気持ちになる。	宿題以外にも少しずつ自主的な学習ができる。	自分の興味や必要性のある自主学習ができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

学年×10分以上（例えば、1年生なら10分、6年生なら60分）をめやすにしましょう。

(4) 自主学習の方法（こんな学習をしたらどうでしょう）

国語	算数	社会・理科・総合
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習 ・漢字ドリル ・意味調べ ・日記 ・音読 ・視写（写し書き） ・テストの問題をもう一度解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算練習 ・算数ドリル ・教科書の問題 ・百マス計算 ・テストの問題をもう一度解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強したことに関係あることを資料などで調べる。 ・授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる。
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・読書をしましょう。 ・国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近に置いて調べましょう。 ・日本地図、世界地図、地球儀を身近において調べましょう。 ・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。 ・詩や百人一首などの暗唱をしてみましょう。 	

(5) 予習について

・次の時間に習う教科書のページを読んだり、その問題を解いたりすることで、中学校では、予習することが宿題になります。

◎子どもを伸ばすポイント

- ・**興味・関心を学ぶ意欲に**（知りたい、やりたいと思うことに取り組ませましょう。）
- ・**ほめ言葉がエネルギーに**（「よくできたね」「やればできるね」というほめことばが意欲や自信を引き出します。）
- ・**生活習慣＝学習習慣**（早寝、早起き、朝ご飯など、基本的な生活習慣を身につけることが学習習慣の定着につながります。）